

平成28年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：交通政策課

担当名：鉄道担当

内線：2228

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B29	鉄道施設安全対策事業費			一般会計	総務費	企画費	企画調整費	県内既設鉄道整備促進費	
事業期間	平成27年度～平成30年度	根拠法令	なし				戦略項目	05 大規模災害への備え	
							分野施策	010502 震災に強いまちづくり	
1 事業の概要 切迫性が指摘されている首都直下地震など大規模地震の際、鉄道施設の損傷を軽微にとどめることにより、鉄道利用者及び周辺住民の安全を確保するとともに、鉄道の運行の継続又は早期再開を可能にする。 また、鉄道高架橋の損傷・倒壊による緊急輸送道路への支障を防止する。 (1) 緊急輸送道路交差等鉄道高架耐震補強促進事業 △4,667千円 工事費用が当初見込みを下回ったことによる減 (2) 緊急輸送道路交差等鉄道高架落橋防止対策促進事業 △6,169千円 工事費用が当初見込みを下回ったことによる減				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 緊急輸送道路交差等鉄道高架耐震補強促進事業 8,000千円 緊急輸送道路と交差・並走する鉄道高架橋・橋梁の耐震補強工事(2か所)に対する補助を行う。 イ 緊急輸送道路交差等鉄道高架落橋防止対策促進事業 17,668千円 緊急輸送道路と交差・並走する鉄道高架橋・橋梁の落橋防止対策(6か所)に対する補助を行う。 (2) 事業計画 ア 平成25年度～30年度 鉄道高架橋・橋梁の耐震補強に対する補助を行う。 イ 平成27年度～30年度 鉄道高架橋・橋梁の落橋防止対策に対する補助を行う。 (3) 事業効果 大地震発生時における緊急輸送道路の遮断防止・応急復旧活動の円滑化 (4) 補正予算の概要 ア 緊急輸送道路交差等鉄道高架耐震補強促進事業：施工箇所の減少(2→1)及び工事費用が当初見込みを下回ったことによる減額。 イ 緊急輸送道路交差等鉄道高架落橋防止対策促進事業：施工箇所の減少(6→5)による減額。					
2 事業主体及び負担区分 (1) 国1/3(県1/3)事業者1/3 (2) 国1/3(県1/3)事業者1/3									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.7人=6,650千円									
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	補正後の 予算額
決定額	△10,836							△10,836	14,832
現計額	25,668							25,668	